



学校だより

玉小っ子

倉敷市立玉島小学校
令和7年6月30日
No.6



あと3週間で夏休みです。子どもたちは、暑さに負けず水泳学習や1学期のまとめに一生懸命取り組んでいます。1年生も小学校生活に慣れて、気持ちのよいあいさつができるようになったり、新しい知識を習得したりして、たくましさを感じるようになりました。また、他の学年の子どもたちも、自分から進んで学習や行事等に積極的に取り組む姿が多く見られるようになり、成長してきています。温かい励ましの声掛けやご協力に感謝申し上げます。



「よさを認める幸せづくり」 = PTA 人権教育講演会 =



6月21日(土)、授業参観に引き続き「PTA人権教育講演会」が行われました。岡山理科大学 教育支援センターの松本一郎先生から、5・6年生の児童と保護者の方を対象に「幸せになる生き方」についてお話をうかがいました。児童には、「自分と自分の周りのすべての人や物のよさを認めると幸せを手に入れることができる」ということを、実例を交えながらお話してくださいました。また、保護者に対しては、ポジティブな行動支援を行うことで、子どものよさを認め、子ども自身が自分を好きになるような子育てをしていこうとエールを送っていただきました。松本先生の熱い思いが伝わるお話をうかがい、「自分や周りの人を思いやり、大切にすること」という心のもちようで、幸せを感じることができるということを再認識しました。大変暑い中でしたが、多くの保護者の方々にご参加いただきありがとうございました。



保護者の方の感想

ゲームのことで家庭でもよく注意することがありますが、ゲームをする前に宿題をしていたり、いい行動をしていたりすることもあるので、その時にしっかりほめていきたいなと思いました。「適切な行動の強化」で親子の関わりを増やしていきたいです。自分が好きな子どもに育てていくためにも自分も笑顔でかかわっていきたいです。

グッドビヘイビアカードの取り組みは、とてもいいことだと思いました。玉島小学校の教室でも、お互いの良い所を書いたものが飾ってあり、すてきだなと思いました。子どもとの関わりでも、良い面を見ていくことを心がけていきたいと思います。そして、自分自身も笑顔でいるように心がけようと思います。

普段、時間に追われている日々の中で、なかなか心のゆとりをもって過ごすことができていないなあと改めて感じました。(中略)子育てをしていく中で、悪い所はすぐに目につき、叱ってしまうことも多くありますが、子どもの「良い所」を見つけることも大切だなあと感じました。子ども自身、認められたり、ほめられたりすることで、周りの人へも思いやりをもってかかわることができるのではないかと感じました。



すてきな話をしてくださりありがとうございます。お話を聞いて、幸せになるためには一人一人のよいところ、すてきなところを認め合い、それを伝えてあげることが一番幸せになる近道だとわかりました。(6年児童)

今日、一日一善のお話を聞いて、毎日少なくとも一つ、よい行いをしようと思いました。ぼくは、カードの話も知って、カードいっぱい教室を作ってみました。(6年児童)

児童の感想

よいことを考えるとよい行動が増えることや悪いことを考えると悪い行動が増えることが分かり、自分も「そうだな」と感じました。自分のよいところ、友達のよいところを見つけることによって、もっと心が温かくなり、いい行動がいっぱいになれることを知れてよかったです。(5年児童)